法人名	独立行政法人航空大学校（平成13年4月1日設立）〈特定〉 (理事長：北澤 誠)
目的	航空機の操縦に関する学科及び技能を教授し、航空機の操縦に従事する者を養成することにより、安定的な航空輸送の確保を図ることを目的とする。
主要業務	1 航空機の操縦に関する学科及び技能を教授し、航空機の操縦に従事する者を養成すること。2 1に掲げる業務に附帯する業務を行うこと。
中期目標期間	5年間
委員会名	国土交通省独立行政法人評価委員会（委員長：木村 孟）
分科会名	教育機関分科会（分科会長：杉山 武彦）
国土交通省独立行政法人評価委員会の評価基準（手法）の概要	<p>項目別評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務運営評価（年度評価） 業務の効率化や質の向上等、運営の改善に向けた取組みを中心として、各法人の主要な業務に関する国民への説明責任を果たすという観点にも留意して、中期目標の達成に向けた中期計画の実施状況を、中期計画が定める各項目ごとの評定を積み上げることにより評価 ・年度業務実績報告の各項目ごとに中期目標の達成に向けた中期計画の実施状況について検討し、5段階（1点～5点）を基本とした段階的評定を行う。（平成13年度は、「中期計画の達成に向け着実な実施状況にあると認められるか否か」の2段階で評定。また、平成14年度から16年度までは、4段階（0点～3点）で評定）。 5点：特筆すべき優れた実施状況 4点：優れた実施状況 3点：着実な実施状況 2点：概ね着実な実施状況 1点：着実な実施状況にあると認められない ・業務運営評価の各個別項目の認定結果から、当該年度の業務の実施状況全体について以下のとおり判断することを原則とする。 <ul style="list-style-type: none"> ①（各項目の合計点数）／（項目数に3を乗じた数）が120%以上である場合：「極めて順調」 ②（各項目の合計点数）／（項目数に3を乗じた数）が100%以上120%未満である場合：「順調」 ③（各項目の合計点数）／（項目数に3を乗じた数）が80%以上100%未満である場合：「概ね順調」

国土交通省独立行政法人評価委員会の評価基準（手法）の概要	<p>④（各項目の合計点数）／（項目数に3を乗じた数）が80%未満である場合：「要努力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務運営評価（中期目標評価） 中期目標の達成度合いを総合的に評価するものであり、法人による業務運営の自主性・自律性の発揮を期待する制度の趣旨を尊重しつつ、法人が提供する公共的サービスの受益者の視点や、効率化・質の向上の実現等を求める国民一般の視点から評価 ・中期目標に係る業務実績報告の各項目ごとに、達成状況について検討し、5段階（S～C）を基本とした段階的評定を行う。 SS：特筆すべき優れた実績 S：優れた実績 A：着実な実績 B：概ね着実な実績 C：十分な実績を上げていると認められない <p>総合評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度評価 業務運営評価による評定を踏まえ、中期計画の達成に向けた実施状況を全般的に評価する（平成13年度は、業務運営評価及び個別業務評価並びに自主改善努力を踏まえ、総合的に評定）。 ・中期目標評価 法人の業務全般について、業務運営評価による評定を踏まえ、総合的な視点から、中期目標の達成状況、業務改善に向けた課題・改善点、業務運営に対する意見等を記述式により評価。業務運営評価により算出された段階的評価の評定及び記述による業務全体に対する評価を踏まえ、総合的に評定。評定は5段階（SS～C）により行う。 <p>項目別評価</p> <p>○ 評価結果 ＜業務運営評価＞</p> <p>1 業務運営の効率化 「組織運営の効率化」、「人材の活用」等3つの中項目について、5つの評価項目を設定して評価を実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成13</th> <th>14</th> <th>15</th> <th>16</th> <th>17</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価結果（項目数）</td> <td>○:6</td> <td>2点:6</td> <td>3点:2、2点:4</td> <td>3点:1、2点:4、-:1</td> <td>4点:2、3点:3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 平成13年度の○印は「着実な実施状況にある」との評定である（以下の項目も同様）。</p>	年度	平成13	14	15	16	17	評価結果（項目数）	○:6	2点:6	3点:2、2点:4	3点:1、2点:4、-:1	4点:2、3点:3
年度	平成13	14	15	16	17								
評価結果（項目数）	○:6	2点:6	3点:2、2点:4	3点:1、2点:4、-:1	4点:2、3点:3								

- 2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上
「教育の質の向上」、「航空安全に係る教育の充実」等4つの中項目について、12の評価項目を設定して評価を実施

年度	平成13	14	15	16	17
評価結果(項目数)	○:12	2点:12	3点:1、2点:11	3点:2、2点:9、-:1	4点:2、3点:9、-:1

- 3 予算、収支計画及び資金計画<13年度:○、14年度:2点、15年度:2点、16年度:2点、17年度:3点>
4 短期借入金の限度額<平成13年度:-、14年度:-、15年度:-、16年度:-、17年度:->
5 重要な財産の譲渡等<平成13年度:-、14年度:-、15年度:-、16年度:-、17年度:->
6 剰余金の使途<平成13年度:-、14年度:-、15年度:-、16年度:-、17年度:->
7 その他業務運営に関する事項

「施設及び設備に関する計画」及び「人事に関する計画」の2つの中項目で評価を実施

年度	平成13	14	15	16	17
評価結果(項目数)	○:2	2点:2	2点:2	2点:2	3点:3

◎ 項目全体の実施状況に対する判断

年度	平成13	14	15	16	17
評価結果	順調	順調 (計点42点100%)	順調 (計点45点107%)	順調 (計点41点108%)	順調 (計点64点107%)

《参考》定量的指標の実績(平成17年度)(例)

指標	中期計画	年度計画	実績
整備、定時整備の見直しにより、1機当たりの年間飛行時間の向上	<ul style="list-style-type: none"> 整備見直し:最終的には飛行時間を年間24時間増加 定時整備見直し:最終的には飛行時間を年間22時間増加 	<ul style="list-style-type: none"> 整備見直し:飛行時間約20時間増加 定時整備見直し:飛行時間約11時間増加 	<ul style="list-style-type: none"> 整備見直し:飛行時間24時間増加 定時整備見直し:飛行時間22時間増加
年間学生養成数	年間72名	72名	72名
年間飛行阻害率	年間3%以下	3%以下	宮崎本校 1.6% 帯広分校 0.7% 仙台分校 1.1%

総合評価

○ 評価結果

年度	平成13	14	15	16	17
評価結果	3業務運営評価: 順調2、 個別業務評価: 良好1)	<ul style="list-style-type: none"> 業務運営評価: 順調 自主改善努力評価: ○ 	<ul style="list-style-type: none"> 業務運営評価: 順調 自主改善努力評価: ○ 	<ul style="list-style-type: none"> 業務運営評価: 順調 自主改善努力評価: ○ 	<ul style="list-style-type: none"> 業務運営評価: 順調

(注)1 「個別業務評価」は、評価基準の変更により、平成14年度からは実施されていない。
2 平成14年度~16年度の「自主改善努力評価」の○印は、「相当程度の実践的努力が認められる。」との評定である。「自主改善努力評価」については、平成17年度は実施されていない。

○ 評価の理由、特記事項等

(法人の業務の実績)

航空大学校の事業は、安定的な航空輸送の確保を図ることを目的として、高質のパイロットを安定的に供給するものであり、その目的達成に向けて的確に業務が実施されている。また、業務の見直し等についても積極的に第一期中期目標期間の教育実績等を踏まえ、第二期中期目標期間における教育・訓練を更に効率的かつ効果的に推進するための検討が行われ、第二期中期目標期間における教育シラバス案及び教育体制の再編案を策定するなど、前進的な検討が進められており評価できる。

(課題・改善点、業務運営に対する意見等)

資質の高い学生の確保に向けた取り組みにおいて、入学試験の成績と入学後の成績について検証を行ったが有意な相関は見られなかったとのことであるが、この取り組みについては、今後も入学試験制度の継続的な見直しと検証にあわせて継続した取り組みが必要と思われる。

国土交通
省独立行
政法人評
価委員会
の17年度
業務実績
評価結果
の概要

(その他推奨事例等)

過去の訓練機事故を踏まえて、7月11日を「航大安全記念の日」として設定し、その一週間を安全週間と定めて校内全体で総点検に取り組み、安全意識の向上と危機管理意識の徹底を図っている。また、総合安全推進会議を設置し、航空安全への取り組み等について指導するとともに、3校の安全確保等の連携強化を図られている。これらの取り組みの結果、重大インシデントにつながると思われるような不具合案件への対応及び指示が的確に行われており評価できる。

項目別評価

○ 評価結果

<業務運営評価>

1 業務運営の効率化

「組織運営の効率化」、「人材の活用」等3つの中項目について、6つの評価項目を設定して評価を実施

評価結果(項目数)	S:1、A:5
-----------	---------

2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上

「教育の質の向上」、「航空安全に係る教育の充実」等4つの中項目について、12の評価項目を設定して評価を実施

評価結果(項目数)	S:1、A:11
-----------	----------

3 財務内容の改善に関する事項

評価結果	A
------	---

4 その他業務運営に関する重要事項

「施設及び設備に関する計画」及び「人事に関する計画」の2つの中項目で評価を実施

評価結果(項目数)	A:2
-----------	-----

《参考》定量的指標の実績(例)

指 標	中期計画	実 績
重整備、定時整備の見直しにより、1機当たりの年間飛行時間の向上	年間飛行時間を7%(約46時間)向上	約10%(64.6時間)向上
年間学生養成数	年間72名	72名(平成14年度を除く)
年間飛行障害率	年間3%以下	各年度で3%以下

国土交通
省独立行
政法人評
価委員会
の17年度
業務実績
評価結果
の概要

総合評価

○総合的な評価

評点の分布状況 (21項目)	SS	S	A	B	C
	0	2	19	0	0

(中期目標の達成状況)

業務運営の効率化に関する取り組みとして、学科教育・実科教育の短縮により養成機関を2年4ヶ月から2年に変更し、併せて、教育の質の向上を図るために追加教育制度の導入、資質の高い学生の確保に向けた取り組み等、計画どおり達成しており評価できる。また、経費の削減に向けた取り組みについても、一般管理費の抑制や人件費の削減など大きな成果を上げており評価できる。

国土交通
省独立行
政法人評
価委員会
の中期目
標期間の
業務実績
評価結果
の概要

(課題・改善点、業務運営に対する意見等)

教育・訓練業務の効率化に関する取り組み等については、今後も、より効率的・効果的な教育に資するために、継続した検討及び検証を重ねることが重要である。また、今後、パイロット需要が大幅に増大することに鑑みれば、航空大学校の果たす役割は、益々、重要なものとなっている。これを踏まえ、航空大学校においては、今後も高質のパイロットを安定的に供出するとともに、民間操縦士養成機関の育成・振興及び航空技術安全行政の技術支援機能の役割についても的確に対応することを期待する。

(その他推奨事例等)

自主改善努力目標として取り組んでいる、在校生及び既卒のエアライン未就職者に対する就職活動のサポートについては、多角的な取り組みを実施したことにより、就職率の向上及び未就職者の解消が図られてきており評価できる。また、過去の訓練機事故の経験を教訓として、学校全体で航空安全に関する取り組みを推進したことで、業務及び教育全般における安全意識の向上と危機管理意識の徹底が図られており評価できる。

○ 総合評定

評価結果	A
------	---

(評定理由)

業務運営の効率化及び業務の質の向上に関する取り組み等については、第一期中期計画に掲げた各目標及び改善策などの確に実施されている。また、第二期中期目標期間における取り組みについても、前進的に実施している。

政策評価・独立行政法人評価委員会の意見	<p>本法人については、「独立行政法人の主要な事務及び事業の改廃に関する勧告の方向性について」（平成16年12月10日付け政委第28号政策評価・独立行政法人評価委員会委員長通知及び平成17年11月14日付け政委第18号政策評価・独立行政法人評価委員会委員長通知。以下「勧告の方向性」という。）の取りまとめに当たり、その組織及び業務の全般にわたる見直しの中で、個々の中期目標の達成状況をも判定する観点から併せて検討を行ったところであり、独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第34条第3項に基づく所要の意見については、勧告の方向性を通じて指摘したものである。</p> <p>なお、勧告の方向性を踏まえて策定された新中期目標等に沿った業務の質の向上及び効率化が、的確な業務の進捗^{ちよく}と併せて推進されるよう、貴委員会は、毎年度の厳格かつ的確な評価に努められたい。</p>
ホームページ	<p>法人：http://www.kouku-dai.ac.jp 評価結果：http://www.mlit.go.jp/hyouka/jisseki/h17.htm</p>